

## まちづくり研究研修について

## 1. 研修目的

第8次氷見市総合計画の策定プロセスを通して、本市への理解を深め、新たな視点から市政に関心を持つことにより視野の拡大につなげる。また、本市の政策課題について、探求し、その解決策を考察することにより、政策形成能力を高めるとともに、多様な意見を計画策定に反映する。

## 2. 研修受講職員

平成22年4月1日現在で、40歳以下の行政職の職員（71名）

## 3. 演習テーマとした政策課題

- (1) 本市の人口の減少
- (2) 本市の活性化
- (3) 本市の安心・安全な地域づくり
- (4) 本市にふさわしい協働社会の実現

## 4. 発表までの研修の経過

## 第1回

日 時 2月2日又は2月3日 午前9時30分～午前11時30分  
研修内容 本市の現状と総合計画の成り立ちを学ぶ（講師 企画広報室次長）

## 第2回

日 時 2月7日～2月10日のうちグループで日時を決定し、2時間実施  
研修内容 選択した政策課題の本質の探究（グループ演習）

## 第3回

日 時 2月16日～2月18日のうちグループで日時を決定し、2時間実施  
研修内容 政策課題解決の方策の検討、とりまとめ（グループ演習）

※ その他にグループごとに自主的に演習を実施

## 5. 発表会

- ・各グループの提案発表会を、政策課題ごとに3日に分けて実施
- ・各グループの発表時間は10～15分とし、発表者と聴講者の質疑応答を15分～20分を設け、各グループ30分ずつで実施
- ・庁内に周知し、政策課題を担当している職員等多くの職員が聴講し、質疑に参加

## 6. 発表の内容等

## (1) 本市の人口の減少

## ① Aグループ

タイトル ずっと住みつづけたいまちづくり 4つの提言  
発表内容 高齢化、少子化、定住、人口流出の視点から本市の強みを最大限に活用し、弱みをできるものから解消する。

## ② Bグループ

タイトル 氷見市の人口減少をとめるには  
発表内容 出会いの場の創設や子育て支援、働く場づくり、住みたいと感じるまちづくりにより若い世代を呼び込む。

## ③ Cグループ

タイトル 女性が住みやすい環境づくり  
発表内容 人口減少を食い止めるには、女性が働きやすい、子育てしやすい環境づくりがポイントとなる。

④ **Dグループ**  
タイトル 人口減少をくいとめるには  
発表内容 氷見のPRや就職情報等を発信してUターン、Iターンを増やす。

⑤ **Eグループ**  
タイトル 少子化対策と人口減少対策について  
発表内容 結婚、子育て、教育と人の成長ごとの環境づくりについて提言

## (2) 本市の活性化

① **Fグループ**  
タイトル H-1 グランプリ ーぐるり氷見のたびー  
発表内容 地域みなさんが創意工夫してイベントや名物料理などの提供する場を設け、競いながら魅力を発信する仕組みを作る。

② **Gグループ**  
タイトル 地消地産で活性化  
発表内容 地消地産を基に、市民の一体感から交流や定住を促進し、起業や雇用を増加させる。

③ **Hグループ**  
タイトル 氷見市観光ゴールデンルートプロジェクト  
発表内容 海鮮館と氷見駅を結んだ道路をゴールデンルートに位置づけ、そのルートである商店街で買えるお土産を開発する。

④ **Iグループ**  
タイトル 株式会社 氷見横丁  
発表内容 観光の拠点として、商店街を横丁化して集客を図る。

⑤ **Jグループ**  
タイトル にぎわいのあるまちを目指して  
発表内容 ハード及びソフト両面から、中心市街地に人の流れを作るアイデアを提案

## (3) 本市の安心・安全な地域づくり

① **Kグループ**  
タイトル いきいきと在所パワーで ～ともに暮らす～  
発表内容 家族や地域の力を引き出す仕組みをすることにより地域の安心・安全に寄与する。

② **Lグループ**  
タイトル お風呂から地域のつながりを考える  
発表内容 お年寄りが入浴施設で楽しむ仕組みを作り、安否確認や地域のつながりを深める。

③ **Mグループ**  
タイトル 限界集落の安心安全  
発表内容 集落機能維持と集落機能の移転の両視点から限界集落の安心安全を考える。

## (4) 本市にふさわしい協働社会の実現

① **Nグループ**  
タイトル 協働社会の実現  
発表内容 地域リーダーの育成やふるさと教育により協働社会の基盤を作る。

② **Oグループ**  
タイトル おいしいコラボでまちづくり  
発表内容 きときと食文化や高齢者の支援の取り組みから、氷見にふさわしい協働のあり方を提案